

在宅ホスピスフェスタ 2025

コミュニティで つむぐ

在宅ホスピス

わたしにもできることがある

人生最後の時を住み慣れた
我が家(地域)で過ごすために…

WEB同時開催

参加無料

3月9日 アクロス福岡 4F 国際会議場

会議場 10:30 ~ 15:00

10:30 ~ オープニングコンサート/山の音楽家 Shana

開会の挨拶

11:00 ~ ビデオ上映

11:20 ~ パネルディスカッション「わたしにもできることがある～在宅ホスピスボランティアの活動～」

12:30 ~ 2024年度在宅ホスピス啓発、ボランティア活動の紹介(ビデオレター)

13:30 ~ 在宅ホスピスを語る会 in 福岡

「住み慣れた地域の中で最期まで過ごすことができた父の看取り」

「私たちにもできた、大切な〈じい〉の看取り～みんなで支えた家族の思い～」

フロア 10:30 ~ 16:20

10:30 ~ ポスター展示・在宅ホスピスに関する医療、福祉、ボランティアの会の活動紹介

医療機器・介護用品展示・相談コーナー・セラピューティックケア体験

15:30 ~ ポスターセッション

閉会式 16:20 ~ 16:30

ご 挨拶

「在宅ホスピスフェスタ 2025」に御参加いただき、誠にありがとうございます。
また、開催に当たり、多大な御尽力をいただきました「ふくおか在宅ホスピスをすすめる会」及び関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

「在宅ホスピス」を取り巻く状況としましては、今年度、県と福岡県医師会が実施しました調査結果では、御自宅で訪問診療を受けている方は、昨年7月の1カ月間で約5万1千人と、1年前の調査結果より約6千人、大きく増加した結果となりました。このほか、御自宅で看取られた方は、令和5年度の1年間で約8千人と、10年間で約3倍に増加しております。

今後、高齢化の進行に伴い、2040年にかけて在宅医療への需要が高まることが見込まれており、それを支える体制づくりが求められているところであります。

そのために、医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で最期まで、自分らしく過ごすことができるよう、苦痛や不安を取り除くための治療を受けながら生活する「在宅ホスピス」や、その在宅ホスピスにおいて、在宅療養を受ける方やそのご家族に寄り添う「在宅ホスピスボランティア」の活動が益々重要となっております。

県では、平成19年度から「ふくおか在宅ホスピスをすすめる会」の御協力をいただき、「在宅ホスピスボランティア」の育成や「在宅ホスピス」の啓発に取り組んでいるところです。今年度で18年目を迎えて、今年度は当初の3会場から、今年度は9会場に増えるなど、各地域で「在宅ホスピス」を支える輪が広まってきており、「在宅ホスピスボランティア」を始めとした関係者の皆様に深く感謝申し上げます。県としましては、今後も「在宅ホスピスボランティア」の皆様や県民の皆様とともにこの取組を進めてまいりたいと考えております。

今年度は「コミュニティでつむぐ在宅ホスピス ～わたしでもできることがある～」をテーマに開催します。今回のフェスタをきっかけとしまして、「在宅ホスピス」についての理解を深めていただくとともに、「在宅ホスピス」の取り組みの輪がさらに広がっていくことを願っています。

令和7年3月9日

福岡県 保健医療介護部 高齢者地域包括ケア推進課
課長 鈴木 茂男

在宅ホスピスフェスタ 2025

コミュニティでつむぐ在宅ホスピス～わたしにもできることがある
人生最後の時を住み慣れた我が家（地域）で過ごすために

みなさん、今年も在宅ホスピスフェスタにようこそ！！

今回は、「コミュニティで紡ぐ在宅ホスピス」というテーマを掲げました。人々のつながりが希薄になっている、という現在ですが、本当にそうでしょうか？

私たちは、両親から生まれ、近所の人たち、友人たちとつながりながら成長し、社会でのさまざまな関わりを踏みながら生きています。いろんな困難や葛藤がありますが、その中でも助け合ったりしながら成長していくのです。そして最後の大切な仕事として、この世との別れ＝死が訪れます。その時に、その人のそれまでの生き方やつながり（関係性）などが見えてくるような気がします。

私は30年ほど在宅ホスピスを実践してきて、多くの患者さん、家族、そして仲間たちからたくさんのことを学びました。その一つとして、「望ましい死」の5つの条件があります。

- 1 どのような人生を生きてきたのか？
- 2 （家族などとの）関係性はどうか？
- 3 ケアする人たちは、悔いのない介護ができたか？
- 4 最期がおだやかだったか？
- 5 思い出をのこすこと

もちろん、これらは一人一人異なりますので、簡単にまとめることはできませんが、私は在宅で患者さんと家族を見る時に、これらの条件を満たすことができているかどうかを考えるようにしています。そこで気がつくのは、1と2は、患者さんが病気になって私たち医療者と出会う前の話ですね。3以降の条件には、多少なりとも私たちが力になれるところがあるかもしれません。しかし、それまでの人生、家族をはじめとする人々の関係性には、私たちの出る幕はありません。そこでは、それまでのいろんな人々との出会い、支え合い、などが必要なのでしょう。それは、大きな意味ではコミュニティのつながりと言えるのではないのでしょうか？

コミュニティで「紡ぐ」とは、人々が協力し合い、関係性や価値を創造していくプロセスを意味します。家族間、友人との関係、会社などでの関わり、他にも私たちは多くの関わりの中で生活しています。

「コミュニティでつむぐ在宅ホスピス」は、地域全体で人生の最終章の人々を支えることで、個人の尊厳や生活の質を高めるとともに、地域社会の絆を深める重要な取り組みです。このアプローチにより、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現が期待されます。今年も、在宅ホスピスフェスタに参加し、共に生きること、死ぬこと、それを支えることについて、語り合ってみませんか？

在宅ホスピスフェスタ 2025

パネルディスカッション 「わたしにもできることがある～在宅ホスピスボランティアの活動～」

① 「福岡県在宅ホスピス啓発事業について」

福岡県保健医療介護部高齢者地域包括ケア推進課 在宅医療係長 若松 倫子

【抄録】

本県では、高齢化の進行や、県が実施したモニター調査で約 6 割の方が「人生の最期を在宅（自宅や高齢者向け住居等）で過ごしたい」と答えるなど、在宅ホスピスのニーズが高まっています。

人生の最期を在宅で過ごしたいと考える方やそのご家族を支えるためには、医療・介護専門職による支援のほか、見守りや傾聴など多様な支援が求められており、その役割を担うボランティアの養成や活動の支援をしていく必要があります。

また、在宅ホスピスの普及のためには、県民が最期の過ごし方について考え、語り合う機会の提供や、在宅ホスピスとボランティア活動に関する啓発が必要です。

このため、県では平成 19 年度から「ふくおか在宅ホスピスをすすめる会」と協働し、ボランティア講座や在宅ホスピスを語る会、在宅ホスピスフェスタなどを開催しております。今後も、これらの取組を通して、医療・介護専門職と地域住民が一体となり、在宅ホスピスを支え合う地域づくりに取り組んでまいります。

【略歴】

2000 年 4 月福岡県へ入職（保健師）。八女、久留米、糸島、柳川保健福祉環境事務所等に勤務。

2022 年 4 月から現職。

在宅ホスピスフェスタ 2025

パネルディスカッション 「わたしにもできることがある～在宅ホスピスボランティアの活動～」

②「ボランティアの会の立ち上げと継続の工夫や活動内容」

NPO 法人在宅ホスピスボランティア結の会 代表 田村 眞由美

【抄録】

結の会は、2007年の第1回「在宅ホスピスボランティア養成講座」の修了生の島井会長が中心となって2008年に発足。2017年広報誌「結」創刊。

2020年にコロナ禍で訪問活動を休止したが、定例会はオンライン会議で継続した。2024年度会員は22人と低迷しており、理由として訪問依頼が少ないため活動できないまま退会すること、会員の高齢化が考えられる。継続のための方策は、①会の中で役割を持ち活動する（書類管理、会の運営、経理など役割を整備、情報はGoogleドライブに集約し共有する）、②会員の状況に合わせて役割を調整（文書、HPの管理を一手に引き受けていた会員が退会を希望⇒別の会員に引き継ぎ、HPの背景画像のみを担当してもらう）、③訪問依頼があった場合のコーディネーターから会員への連絡にSNSを活用して迅速に対応、④会員の資格（もしバナマイスター）取得への援助、⑤会員間の交流を図る（例：ホスピスフェスタのパネル準備で集まった際に食事会を催す）

【略歴】

平成31（2019）年3月初代から引き継ぎ、2代目の代表長に就任。仕事（看護教員）をしながら、会の代表の役割を果たしている。

ともにかせす 代表 坪根 弘

【抄録】

八女市にある「みどりの杜病院」では、ボランティアをともしれば閉鎖的になりがちな 病院と外の世界をつなぐ存在として積極的に受け入れていました。

しかし、ボランティアとボランティアの間に横の繋がりはなく、もしこの状態で、ボランティアコーディネーターに人事異動等があれば、これまで通りのボランティア活動を行うことは困難と考えられました。そこで、ボランティア内で検討した結果、ボランティア登録をした方で団体を立ち上げ、お互いに顔や名前の分かる関係をつくることができれば、これまで通りの活動が維持できるのではないかと意見がまとまりました

一つ大きな課題がありましたが、ある方の申し出により一気に話が進み、①みどりの杜病院にボランティアとして登録している方の交流の場であること、②ボランティアハウスとして地域に役立つ活動をしていこうとの思いを確認し、令和5年9月に八女市の中心部に古民家を借りて「らいおんの家」が誕生しました。

在宅ホスピスボランティア「ともにかせす」の第1期生が誕生したのも、ボランティア 団体の立ち上げについて検討を重ねることでボランティア同士に横のつながりが芽生えてきたこの頃になります。

【略歴】

- ・2017年9月に八女市にある「みどりの杜病院（ホスピス）」にボランティア登録をしてギターの弾き語りを月に1回程度行っています（現在も継続中）。
- ・2024年8月に、在宅ホスピスボランティア養成講座を受講し、翌月の打ち合わせ会で2代目の会長となりました。
- ・40歳から58歳までボーイスカウトの指導者に従事、ボランティアコーディネーターの永松さんとはその時からの指導者仲間です。その縁で、みどりの杜病院でのボランティア活動に参加させていただくことになりました。

在宅ホスピスフェスタ 2025

パネルディスカッション 「わたしにもできることがある～在宅ホスピスボランティアの活動～」

③「ボランティアの会の立ち上げへの思いとこれから」

ともにかせすコーディネーター 永松 美穂子

【抄録】

全国にも数が少ない独立型ホスピス緩和ケア病院みどりの杜病院は、2011年5月に開院。ボランティアスタッフの増員や活動定着が難しかったため、2017年7月よりボランティアコーディネーターに就任し看護業務を一部兼任しながら組織作りに取り組む。

現在は延べ数で500名を超えるボランティアスタッフが集まり、毎月140名のボランティアスタッフの出入りがある。また、当院は在宅診療も行っているため在宅にも病棟と同じ様にボランティアスタッフが必要だと要望が上がった。2023年2024年と在宅ホスピスボランティア養成講座を行い、ボランティアスタッフが23名とそろい、在宅にも傾聴、見守り、演奏、アロママッサージを提供できるようになる。

ボランティアスタッフをコーディネートするにあたり大切なことは、お互いの信頼関係です。活動を継続していくには、活動のやりがいを生み出すことです。活動の楽しみや喜びを生きるコミュニケーションを使いながら気づきや感じる心を育てる「自己成長」を実感できる場にするのが一番大切だと思っています。今後はさらにボランティアスタッフ教育育成を大切にしながら地域に向けてボランティアの拠点地らいおんの家を作り上げていきたいと思っています。

【略歴】

2016年 4月	公立八女総合病院企業団 みどりの杜病院 看護師として入職
2017年 7月	ボランティアコーディネーター設立・看護職と兼任
2023年 9月	在宅ホスピスボランティア「ともにかせす」のコーディネーター就任 ボランティアハウス らいおんの家設立
2024年 10月	ボランティアコーディネーター専任 ボランティアハウスらいおんの家事務局

④「実際にボランティアを利用した事例の紹介」

ケアプランセンターはな 管理者 湯野 光代

【抄録】

ケアマネジャーとしてボランティアの重要性について述べる。

ボランティアは、利用者の幸せを支える大切な存在であり、具体的な事例を通じてその役割を示す。

事例1：Aさんは肝臓病の治療を受けていたが、急激に病状が悪化。ボランティアの方々は、Aさんの夫が原爆の語り部のボランティア活動を続けるためのサポートを行い、家族へのケアを実施した。

事例2：Bさんは、一人暮らしで廃用症候群に陥り、ボランティアの方々による訪問支援が心の支えとなったが、コロナ禍で訪問が中止され、亡くなった。

事例3：Cさんは中学校の元理科教師で、脳出血や高次機能障害を抱えながらも教会の関係施設や介護職員として働いていた。しかし、再発した病気により要介護4となり、自宅に戻ることが難しくなった。Cさんは「やりたいことがない」と感じており、精神的な孤立感が強まっていた。そこで、ボランティアの方々に支援を依頼し、月に2、3回訪問してもらうことにした。

これらの事例から、ボランティアは社会的つながりや精神的サポート、身体的支援を提供し、利用者の生活の質を向上させる重要な役割を果たしている。私は、今後もボランティアの方々と連携し、利用者により良い支援を提供していきたいと考える。

【略歴】

2005年 ケアマネジャーとして働き始める

2018年 主任ケアマネジャー

2022年 認定ケアマネジャーを取得

2006年「居宅サービスわかたけ」に19年間勤務

2025年2月より「ケアプランセンターはな」に勤務

在宅ホスピスフェスタ 2025

在宅ホスピスを語る会 in福岡

「住み慣れた地域の中で最期まで過ごすことができた父の看取り」

ご家族 川上 智美

【抄録】

父 川上重美（しげみ）昭和10年5月6日生まれ 令和2年2月5日死去（84歳）

私 川上智美（さとみ）長女（3姉妹）

父は農家の10人兄弟の9番目に生まれ、中学卒業後は長崎の石材店に働きに出て家計を支えた。長兄が戦死し、他の兄たちも家を出たため、跡取りとして家に戻り家族で協力して建てた家が、何よりも自慢で誇りだった。結婚後、農業だけでは生計が立たず勤めに出るようになり、好きだった機械の修理を仕事として70歳で退職するまでエンジニアとして働く。

59歳で脳梗塞を発症するが、1か月程度で退院し、すぐに仕事に復帰。

74歳の時に2回目の脳梗塞を発症。物忘れ、まだらボケが始まる。母が一人で介護を担う。

デイケアに行き始める。薬で症状のコントロールを行うが、ひどくなるばかりで病院を変え、デイサービスに変更。

ますますひどくなる父の介護に何度も入所をさせようかと思ひ悩む。ケアマネジャーはじめ、関わってくれた方々、近隣の人たち、それがあったからこそ最期の時まで自宅で父を看ることが出来た。訪問診療や訪問看護、訪問介護は使っていない。

令和元年12月肺炎で入院、年末の退院でようやく介護ベッドを入れたが、母にとって自宅での介護はもう限界のようだった。

令和2年2月5日、いつものように母は小学校に給食用野菜を届け、帰ってきて父に朝の身支度をと声をかけているとき、父は静かに息を引き取った。

父が何をどう望んでいたかわからない。ただ本当に大変だと思われた介護も母は感謝に変えることができていた。本人ののぞむ暮らしや、どこで最期を迎えたいかは大切なことであるが、それ以上に家族がどうしてあげたいか、その思いが届いてこそその在宅での看取りだと感じた。

そして、地域の方々が母を通して父の介護の在り方を知ってくれた。その支えは我が家にとってはとても有難く、大きなものだった。くじけず、曲がらずに父に寄りそってくれた母に感謝しかない。父を看取った後、私たち家族は悲しみもあったがどこかほっとしたようにも思えた。

今はこの体験を今度は地域の方々に返すようにつないでいこうと思う。

在宅ホスピスフェスタ 2025

在宅ホスピスを語る会 in福岡

「私たちにもできた、大切な〈じい〉の看取り ～みんなで支えた家族の思い～」

ご家族 中村 裕子

訪問リハビリ 菜の花診療所 杉水流 朋子

訪問看護師 訪問看護ステーションオハナ・菜の花診療所 浜 理恵

【抄録】

「その人」らしくってなんやろう？

失敗して、落ち込んでもいいやん！

一緒に悩んで考えて。一緒にちょっとずつやっていけばいいんじゃない？

あなたらしさとは何か？それはあなたが決めてよかよ！

望む場所で、じいも、支える家族もみんな幸せ！

在宅ホスピスフェスタ 2025 パネル展示表

番号	所 属	テーマ
1	福岡県高齢者包括ケア推進課在宅医療係	福岡県在宅医療推進の取り組み
2	ふくおか在宅ホスピスをすすめる会	福岡県在宅ホスピス啓発事業の取り組み
3	みどりの杜病院	福岡県内緩和ケア病棟
4	大賀薬局 粕屋別府店 渡辺崇	わたしの認知症の父のこと ～胃ろうはしないと父を想い家族で決めた～
5	田島歯科医院	訪問歯科の役割
6	ケアプランセンターそら	在宅でのケアマネージャーの役割
7	にのさかクリニック	「写真とともに綴る」
8	にのさかクリニック	「食べる」ことから知る家族の記憶 ～管理栄養士と言語聴覚士の食支援で分かったこと～
9	にのさかクリニック「小さなたね」	「きょうは何する？」小さなたねの日常 ～医療的ケア児と楽しく過ごす～
10	バン格拉デシュと手をつなぐ会	バン格拉デシュと手をつなぐ会 活動報告
11	音楽療法士 野田恵美	在宅での音楽療法の紹介
12	看護小規模多機能型居宅介護三丁目の花や	看護小規模多機能型居宅介護の紹介
13	訪問看護ステーションはな	訪問看護の役割
14	東区在宅療養ボランティアの会「ここいる」 (福岡市東区)	ここいる活動紹介
15	在宅ホスピスボランティアの会「手と手」 (福岡市早良区)	在宅ホスピスボランティアの会活動の実際
16	ホスピスボランティアグループときめき (宗像市・福津市)	在宅ホスピスボランティアの会活動の実際
17	いとしま在宅ホスピスボランティアの会 ヴィオラ (糸島市)	在宅ホスピスボランティアの会活動の実際
18	志免町在宅ホスピスボランティアにじいろ (志免町)	在宅ホスピスボランティアの会活動の実際
19	NPO 法人ホスピスボランティア結の会 (久留米市)	在宅ホスピスボランティアの会活動の実際
20	在宅ホスピスボランティアともしにかせす (八女市)	在宅ホスピスボランティアの会活動の実際
21	iACP 認定もしバナマイスターズ in 福岡	もしバナゲーム紹介
22	日本セラピューティックケア協会	セラピューティックケアの紹介
	株式会社 エヴァ	福祉用具の紹介
	帝人 株式会社	医療機器の紹介
	木星舎	ホスピスに関する書籍の紹介